

たまっぷ Tamap

2018 9.30
[平成30年] No.10

発行 東京都産経会多摩支部
編集 多摩支部広報委員会
〒190-0012 立川市曙町2-31-15 日住金立川ビル3階
TEL042-527-9853

裏面 地元多摩の逸品

今号のプレゼントは?

多摩地区の特産、名産はもちろん、地域密着の逸品をご愛読者様に抽選でプレゼント！詳しくは裏面のプレゼントコーナーへ…

さわやかな秋風に吹かれて 人気の生涯スポーツ、 ターゲット・バードゴルフ Target Bird Golf (TBG) にチャレンジ!

全国で5万人もの愛好者がいるといわれるターゲット・バードゴルフ(以下TBG)。埼玉県川口市で考案されたこの競技は文科省認定の生涯スポーツとして全国に知れ渡り、スポーツレクリエーションの正式競技種目のひとつにも選ばれています。今回は9月12日に国営昭和記念公園で開催されたTBGの「都民スポレクふれあい大会」におじゃまして、この競技の魅力を探ってきました。

TBG初心者入門

ルールはゴルフとほぼ一緒

TBGは「ゴルフに最も近いスポーツ」といわれています。4人組で18ホール(1ラウンド)を回り、合計打数の少なさを競い合います。18ホールのパー(打数)の総数の標準は72。これを下回るようにプレイします。

TBG用具



ショットの際には必ず敷く
ショットマット

TBG専用クラブ
(クラブは1本のみ)

重さ約30gの
シャトルボール

TBGの特徴

TBGは広い土地を使わずとも、ゴルフと同等のプレイができるようにという発想から生まれました。使用する球は「シャトルボール」というプラ製の羽がついた飛距離の出ない球を使用。また、ホールの長さもショート(30~45m)、ミドル(45~70m)、ロング(70~90m)に設定されていて18ホールの移動距離は1km程度。コンパクトなスペースで、適度な運動量のプレイが楽しめるため、シルバー世代を中心に競技人口が増加しています。全国大会、地区大会なども開催されているので、目標を掲げて練習に打ち込むこともできます。

専用網ホール

網み状の部分が
アドバンテージ
ホール

プラス1打の
セカンドホール

家族みんなでTBGを体験しよう!

10月6日(土)・7日(日)に国営昭和記念公園・みどりの文化ゾーンで開催される「スポーツ博覧会 東京2018」でTBGが体験できます。
開催日: 10月7日(日)
場所: みどりの文化ゾーン内ゆめひろば
時間: 10:00~17:00
※上記以外にも毎月第三日曜日に同公園内で開催されるサンデースポーツでも体験可能。



コースの幅は約3m。OBしやすいので、飛ばす方向や力加減、風向きを考えてのショットが必要。また、ホールにはペナルティが加算されるエリアが設けられています。



スコアカードを暗算で素早く計算。これが認知症予防になるのだとか。また、太陽の下で運動するため、骨粗鬆症が改善されたという会員さんもいるそうです。



「東京都TBG協会」には29の地域協会が加盟。その内の23が多摩地区にあり、ほとんどの市町村で気軽に参加できるようになっています。東京都全体で約2千人が会員登録しており、会員の平均年齢は約75歳。90歳以上の方も元気に競技へ参加しています。



ゴルフと違うテクニックを必要とするのが「籠入れ」。アドバンテージホールを狙うために球を浮かさなくてはならないのでコツが要ります。

この競技の魅力は?

日野市TBG協会の顧問で普及副委員長を兼務する根岸仙太郎さんは、この競技の魅力を次のように語ります。
「私のようなゴルフ経験者でなくとも、練習次第ですぐに上達できるようになります。また地域協会に入ると年間数千円で練習ができる上、近所に友だちができるので、活動的になります。いまではゴルフよりもTBGのほうが面白くて仕方ありません」

80代とは思えない身のこなしの根岸さんは、日本TBG協会の公認指導員でもあります。多摩地区TBG協会の問合せは根岸さんまで TEL.080-5679-2953